KIORITZ

取扱説明書

共立溝切機
MKSE2310

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

共立溝切機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

●製品の使用目的

・この製品は水田での溝切り作業を目的とした製品です。
水田での溝切り作業以外には使用しないでください。

●製品の使用者について

・この製品は取扱説明書をよく読んで充分に熟知した人が使用してください。
また、共立エンジンGE2310MIの取扱説明書もよく読んでください。
・取り扱い説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、酒を飲んでいる人、薬物の影響がある人、16歳未満の人は製品を使用しないでください。
・作業にあたっては、あらかじめ圃場条件を作り、田に多少水が残っている程度がよく、全然水がないと、プラウが、地に吸着くので、田の足跡に水がある程度が最適です。

●取扱説明書について

・本書には、製品の操作、整備に必要な重要な情報が描かれています。よく読んで理解してください。
・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。

●製品貸与、譲渡

・本書で解説する製品を貸与する場合、借りて作業する人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

●お問い合わせ先

・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

●おことわり

・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組み立て作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

目　次

⚠安全にご使用いただくために……1
■警告表示……1
■その他の表示……1
■シンボルマーク……1
■警告表示ラベル……1
■一般的なご注意……2
1．各部の名称と機能……3
2．組　立……4
3．作業前の手順……5
◎圃場条件の作りかた……5
◎作業の服装……5
◎運搬方法……5
◎燃料の給油および補給について……5
4．操作方法……6
◎エンジン始動……6
◎エンジン停止……7
◎溝切り作業……7
◎調　整……8
◎点検・整備……9
5．仕　様……10

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。
安全作業のためによく読んで､必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

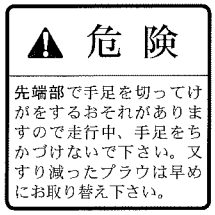
■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

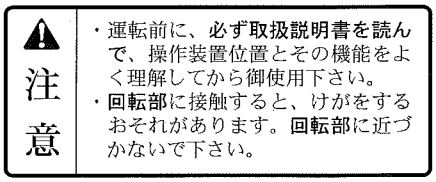
シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		高温部に注意すること。
	火災に注意すること。		

■警告表示ラベル

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、３ページに指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



部品番号：000012



部品番号：000011

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。
・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・16歳未満の人
☆事故の原因となります。



●製品の改造禁止

・製品を改造してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

・点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

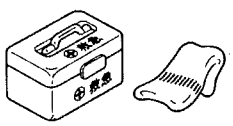
・夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
☆誤った操作により、重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・厚生労働省の通達は次のとおりです。
　1日の使用時間：2時間以内
　1回の連続作業時間：30分以内
　1回の連続作業後の休止時間：5分以上
☆健康障害を受ける恐れがあります。

●ケガへの備え

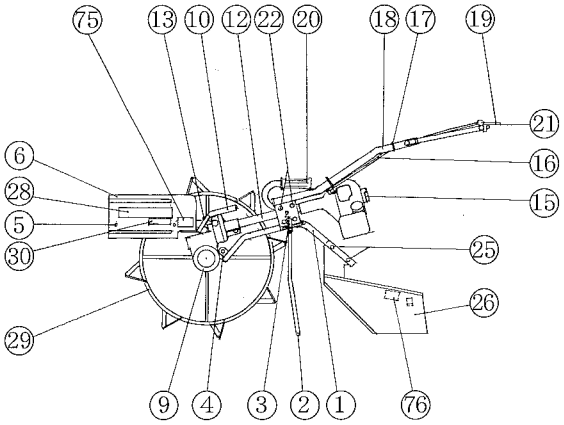
万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



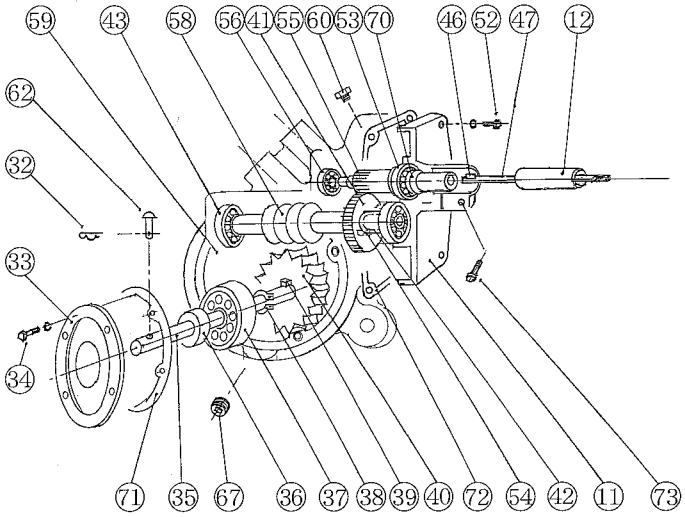


1．各部の名称と機能

本　体　部



ミッション部



◆部品名

図番	個数	品名	図番	個数	品名	図番	個数	品名
1	1	フレーム	26	1	プラウ	54	1	ウォームキー
2	1	スタンド	28	1	マーク	55	1	ピニオン、延長軸付（10T）
3	1	スタンドバネ	29	1	車輪	56	1	ピニオンベアリング　627
4	1	フレーム取付ボルト　6×30	30	2	型式マーク	58	1	ウォーム
5	4	分草板取付ネヂ　6×15	32	1	松葉ピン	59	1	ミッションケース（2310）
6	1	分草板	33	1	ケースフタ大	60	1	オイルプラグ
9	1	ミッションASSY（2310）	34	4	ケースフタ大止ボルト	62	1	テーラーピン
10	1	トッテ	35	1	走行軸（2310）	67	1	メクラプラグ（¼）
11	1	ツナギ軸受（26）	36	1	走行軸オイルシール	70	1	延長軸オイルシール　25－15－7
12	1	スピンドルパイプ	37	2	走行軸ベアリング　6004	71	1	パッキン丸形（2310）
13	2	トッテ取付ボルト	38	1	走行軸ストップリング　S－20	72	1	パッキン角形
15	1	エンジン	39	1	走行軸キー（5×5×14）	73	1	スピンドルパイプ止ボルト
16	1	スロットルワイヤー	40	1	ウォームホイル（M1.5）	75	1	注意マーク（取説）
17	2	ワイヤハンドル	41	1	平歯車大（53T）	76	1	注意マーク（プラウ）
18	1	ハンドル	42	1	中間軸カラー			
19	1	スロットルレバー	43	2	中間軸ベアリング　6001			
20	1	センタートッテ（グリップ付）	46	1	スピンドルキー（3×3×22）			
21	1	ストップスイッチ	47	1	スプラインジク			
22	2	ハンドルベースボルト	52	6	ツナギ軸受止ボルト			
25	2	プラウ元ボルト　8×20	53	1	ツナギ軸受ベアリング（6002）			

⚠ 危険

先端部で手足を切ってけがをするおそれがありますので走行中、手足をちかづけないで下さい。又すり減ったプラウは早めにお取り替え下さい。

部品番号：000012

⚠ 注意

・運転前に、**必ず取扱説明書を読んで**、操作装置位置とその機能をよく理解してから御使用下さい。
・**回転部**に接触すると、けがをするおそれがあります。**回転部**に近づかないで下さい。

部品番号：000011

2．組　　立

⚠ 警　　告
・正しく組み立ててください。誤って組み立てたものを使用すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警　　告
・機械の改造はしないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

燃料およびエンジンの取扱いについては、共立エンジンGE2310MIの取扱説明書をよく読んで使用してください。

◆組み立て方法◆

1．ダンボールをあけ、記載されている内容が間違いなく入っている事を確認してください。
2．本体に26番プラウをＭ８×20ボルト（２本）で固定してください。
3．ハンドルを本体フレームに組み込み、22番ハンドルベースボルトを締めてください。
4．19番スロットルレバー、21番ストップスイッチをハンドルの左右任意の位置に固定してください。
5．本体を組立後、必ず各ボルトの緩みがないか確認し、体に合った高さでご使用ください。

3. 作業前の手順

◎圃場条件の作りかた

○本製品を使用して溝切り作業を行なうためには、作業に適した圃場の条件を整えることが必要です。
- 田植え前に圃場ができるだけ平らになるように耕耘作業を行ってください。
- 溝切り作業の前には、土の表面が乾く程度にして下さい。
- 溝切り作業の直前に必ず走り水を入れて作業を行なってください。
- 溝切り作業後は、すみやかに落水して、中干しをしてください。

⚠ 注　意
本製品は、極端な湿田や乾田など条件の合わない圃場では使用できません。

◎作業の服装

⚠ 注　意
・身体に合った作業衣を着用してください。体が露出しないようにしてボタン、ファスナを完全にして作業衣のすそはズボンの中に入れ、すそじまりをよくしてください。帽子、耳栓、保護手袋、作業長靴等の保護具を必ず着用してください。

◎運搬方法

⚠ 注　意
・運搬は必ずエンジンを停止して行ってください。

- スタンドを後方へはね上げてください。
- 運搬時は製品の取っ手のいずれかを運搬姿勢によって選び、両手で持って運搬してください。取っ手以外の部分を持たないでください。

⚠ 警　告
・水田内での溝切り作業以外には使用しないでください。

◎燃料の給油および補給について

⚠ 危　険

・燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に充分注意してください。
燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしてはいけません。
・エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしてはいけません。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



⚠ 警　告

・燃料を補給する際は燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
・燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

重　要
・燃料はレギュラーガソリンと、２サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。 共立エンジンGE2310MIの取扱説明書をよく読んで混合および補給を行ってください。

4. 操作方法

⚠ 警　告
・操作にあたっては共立エンジンGE2310MIの取扱説明書もよく読んで行ってください。特にエンジンを始動する場合は記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ☆注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります。

◎エンジン始動

⚠ 注　意
・エンジンを始動する前に、ボルトや、ナット、ネジが締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合はまし締めしてください。部品の破損、欠品があれば正規の部品の交換、取り付けを行ってください。

⚠ 注　意
・エンジン始動は、足場のよい本機がしっかりと固定できる場所で行ってください。エンジン始動時に、スロットルレバーを低速の位置にしておいても、車輪が動く場合は、すぐにエンジンを停止させて、エンジン側取扱説明書を読んで各部の調整をしてください。スタータグリップを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので、注意してください。 ☆車輪が動いてけがをすることがあります。

重　要
・スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引き紐の２／３以上は引出さないでください。 ・スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。 ・エンジン始動操作のときに最初の爆発音が聞こえたら、チョークレバーを戻して再度スタータグリップを引くと始動します。最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。

○冷えたエンジンの始動

1．燃料が漏れていないことを確認します。
2．スロットルレバーは低速、チョークレバーを閉じるの位置にします。
3．プライマリーポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリーポンプを押す・離すの操作をくり返してください。(目安５～10回)
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを数回引いてください。
5．爆発音がして、すぐに止まった場合は、チョークレバーを開くに戻して、更にスターターグリップを引き始動させてください。
6．上記４、の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に開にしてください。
7．エンジンが始動したら、２～３分間、アイドリング（低速運転）で暖機運転をしてください。
8．作業を開始するときは、スロットルレバーをゆっくりと高速側に動かし、作業に合わせて回転数を調整してください。

○暖まったエンジンの始動

1．スロットルレバーは低速、チョークレバーを開の位置にします。
2．燃料タンクが空でなければ、スターターグリップを引いてエンジンを始動させてください。
3．燃料がプライマリポンプ内に見えないときは、プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプの操作（押す⇔離す）を繰り返してください。(目安５～10回)
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを引いてエンジンを始動させてください。

◎エンジン停止

1．スロットルレバーを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速運転）状態にしてください。
2．エンジンが停止するまでストップスイッチを押してください。
3．緊急の場合は、直ちにストップスイッチを押してエンジンを停止してください。
4．エンジンが停止しない時はチョークレバーを閉の位置にしてエンジンを失速させて停止してください。

☆ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、再び使用する前に、お買い求めの販売店で、点検と修理を実施してください。

⚠ 注　意
・エンジン停止後しばらくは火傷防止のためにシリンダーやマフラー、ミッション部などの高温部に触らないでください。

◎溝切り作業

溝切り作業を行う前に、作業者の体型に合わせて、ハンドル高さをあらかじめ調整してください。本製品には舵取り装置はありません。

○操　作

1．エンジン始動後､スロットルレバーでエンジンの回転を徐々に上げていくと車輪が回転を始めます。
2．ご使用の際は、なるべく半クラッチにならないようにご使用下さい。
3．スロットルレバーの位置は圃場の条件によって調節してください。自転車等と同様に、前後左右のバランスを保つには一定の作業速度になることが必要です。
4．車輪が泥の中に埋まってしまい車輪が回らなくなってしまった場合は、すみやかにスロットルレバーの位置を低速に戻し、その場から脱出してください。
エンジンを停止し、持ち上げてスタート場所を変えるか、エンジン回転を徐々にあげて車輪がゆるやかに回転する程度の速度で歩行してください。
5．車輪保護の為、道路上を走らせないで下さい。

⚠ 警　告
・エンジン回転を急に上げずに、徐々にエンジン回転をあげてスタートしてください。 ・スロットルレバーの位置を高速にしたまま、無理に脱出の試みを続けると、エンジン、本体の故障の原因となります。また、本機のダッシング（飛び出し）の原因ともなり危険です。

⚠ 警　告
・無理に本機を傾けたり、足で抵抗をかけて進行方向を修正しようとするとバランスをくずし転倒する危険があります。進行方向がずれてきた場合は、いったん停止し、本機を進みたい方向にむけなおし、作業を再開してください。

6．本機で方向転換を行う場合は、必ずエンジン回転を低速にして、行ってください。
7．水田内で作業する条を移動する場合も、上記と同様に移動してください。
8．運転中に異常な音、振動や異常な回転、走行部への石など異物のかみ込み等が生じた場合は直ちにエンジンを停止させ点検してください。

⚠ 警　告
・乗用や本機の改造は大変危険ですのでお止めください。 ・夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を操作しないでください。雨降り、雨上がり、強風のときも使用しないでください。

◎調　整

○プラウの調整

1．溝幅の調整は、プラウ上面金具の蝶ボルト穴を移動して行います。
2．溝の深さの調整はプラウ止めボルトを緩め、プラウの角度調節で調整してください
☆プラウを寝かせた状態を基準にして徐々に立てていく事を調整の目安としてください。

○ハンドルの高さ調整

1．ハンドルの高さは、ハンドルベースボルトを緩め体型に合わせて調整してください。
2．作業者の体型に合わせてご使用ください。

○分草板の調整

1．分草板の取り付けパイプ元金のボルトを緩めますと取付角度を調整することができます。
分草板が土に埋まる場合は、取付角度をあげてください。

◎点検・整備

製品を調子よく、安全に使用するために定期的に点検・整備をしてください。

⚠ 注　意
・点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、冷えた状態でスパークプラグを外して作業してください。

・ここに示した整備の時間間隔は、最長時間です。作業頻度や今までの実績から判断して必要な整備頻度／間隔を決定してください。

整備箇所	整備	使用前	毎月
エアフィルタ	清掃／交換	●	
燃料フィルタ	清掃／交換	●	
スパークプラグ	点検／清掃／交換		●
キャブレタ	調整		●
冷却装置	点検／清掃	●	
マフラ	点検／清掃	●	
スクリュ、ボルト、ナット	点検、増し締め／交換	●	

・点検・整備をするときは共立エンジンGE2310MIの取扱説明書もよく読んで実施してください。

※　減速室の給油

(1) 減速室には、ギヤオイル（170cc）が、入っています。
使用前には、点検して、不足している時はミッション上部のオイルプラグを外して適量に補充して下さい。

(2) 使用30時間又はよごれている場合は交換して下さい。

(3) ギヤオイルは、日本石油GL-5ハイポイドギヤオイル相当品を使用して下さい。

○長期保管（30日以上）

製品を長期間（30日以上）にわたって保管する場合は、共立エンジンGE2310MIの取扱説明書の内容にしたがって保管の際の整備を必ず実施してください。

○製品の廃棄について

製品や部品を廃棄するときは、販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

5. 仕　　様

型　　式		MKSE2310
寸法：長さ×幅×高さ　(cm)		115 × 43 × 86
重　　量　(kg)		11.8
エンジン	形　　式	空冷２サイクル単シリンダ
	気　化　器	ダイヤフラム式
燃　料　混　合　比		(ガソリン) 25：1 (2サイクル専用オイル)
燃料タンク容量　(ℓ)		0.62
車　　輪　　径　(mm)		550
標準溝切り幅　(cm)		14 ～ 17
標準溝切り深さ　(cm)		11

株式会社 共立

東京都青梅市末広町 1-7-2　〒 198-8711　☎ 0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　〒 004-0041　☎ 011-891-2249 (代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東 5-1-50　〒 984-0002　☎ 022-288-0511 (代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎ 0428-32-1091 (代)

中部共立エコー株式会社
愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　〒 452-0031　☎ 052-502-4111 (代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田 566-159　〒 701-0221　☎ 086-296-5911 (代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原 5-3-7　〒 816-0943　☎ 092-573-5361 (代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎ 0428-32-6777 (代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

株式会社　共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

G101 － 030